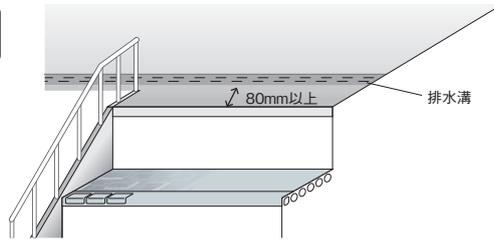
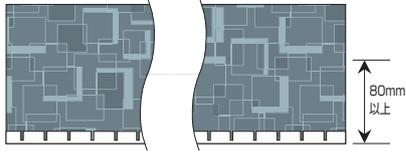


**!** 下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。  
 使用前保管時・施工時・養生時 ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと

## 1. はじめに

- 階段の最上段はレッツステップの踏み面部の寸法が80mm以上になるように仕上げてください。

**!** 注意 ● 踏み面が短いとズレや脱落の恐れがあります。

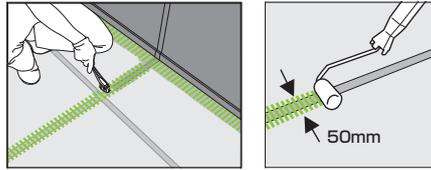


## 2. 下地の清掃

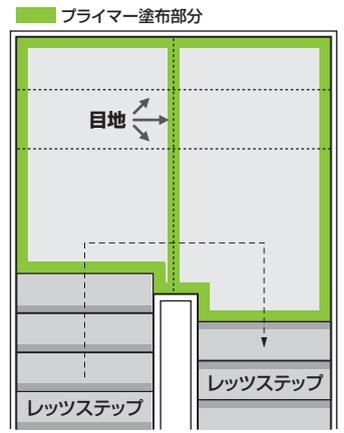
- 施工前には高圧洗浄などで必ず下地の洗浄を行い、十分に乾燥させてください。
- 砂・塵埃などを除去してください。

## 3. 下地用プライマーの塗布

- 図のように、踊り場、廊下外周及び短辺の目地へレッツステップ専用プライマーを中毛ローラーやハケで幅50mmに塗布してください。
- 目地部は、目地を中心として、幅50mmに塗布してください。

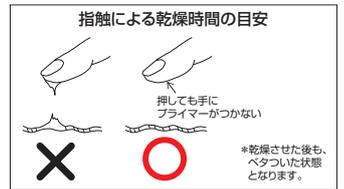


- !** 注意
- 塗布幅が50mm以上にならないように注意してください。
  - 画面テープの貼り付け予定位置からはみ出さないように塗布してください。はみ出した場合、プライマーとシート裏面の接着音が発生する場合があります。
  - 直射日光により変色する場合がありますので、**施工部からはみ出さないように塗布してください。**
  - 乾燥状態は指触して確認してください。  
(乾燥させた後もベタついた状態となります。)
  - 1日以上乾燥させないでください。(塗布の効力は1日です。)  
翌日の貼り付けとなる場合には再度塗布する必要があります。
  - 塗布面は汚さないように注意し、汚れが付着した場合は再度塗布してください。



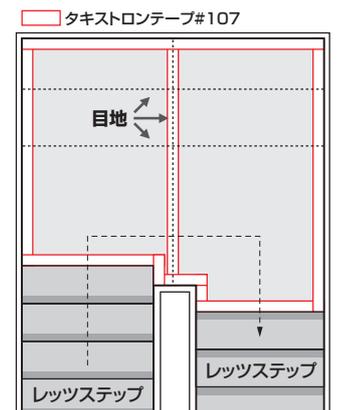
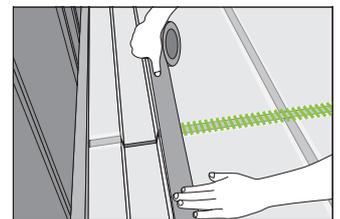
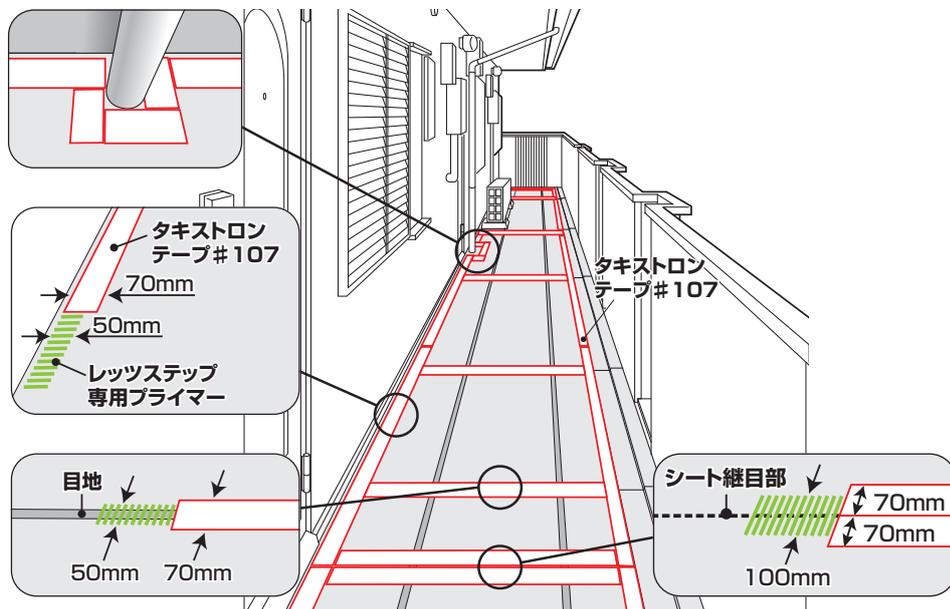
### <レッツステップ専用プライマー>

オープンタイム(20℃)	10~20分
貼り付け可能時間(20℃)	1日(24時間)
標準使用量(廊下・踊り場専用シートTR)	50m <sup>2</sup> /缶(塗布幅50mmの場合)



## 4. 両面テープの貼り付け・圧着

- 踊り場、廊下外周、及び短辺の目地上にタキストロンテープ#107を貼り付けてください。(シワが発生しないように注意しながら貼り付けてください。)
- タキストロンテープ#107は重ねて貼らず、突きつけてください。(1mm以上の隙間が空かないようにしてください。)
- 貼り付け後、直ちにハンドローラーを用いて圧着してください。



試験データ P.196

法規関連 P.218

工法・下地 P.229

施工手順 P.247

接着剤・副資材 P.314

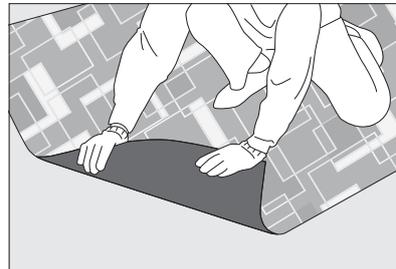
副資材品番一覧 P.328

メンテナンス注意 P.333

- 注意** ●5℃以下(気温・下地)では施工できません。(両面テープの初期粘着力が低下するため)
- 幅100mm以下の箇所には施工する場合は、シート裏面にタキストロンテープ#107を貼り付けた後に、裁断を行い、貼り付けてください。
  - シートの継ぎ目は、それぞれのシートにタキストロンテープ#107を貼ってください。(1本のテープでシートをまたがせて貼らないでください。)
  - 接地階は、テープ工法では施工できません。接地階にシートを施工する場合は、接着工法を用いて施工してください。
  - レッツステップ専用プライマーがタキストロンテープ#107からはみ出さないようにしてください。はみ出した場合は、踊り場用シートとレッツステップ専用プライマーが接触しないように、マスキングテープ、または養生テープを貼ってください。

## 5. シートの仮敷き

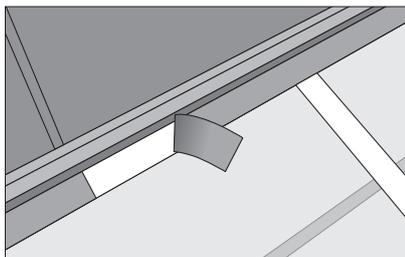
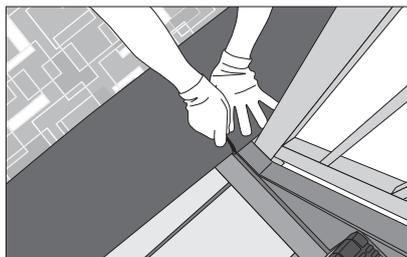
- 貼り付け位置に合わせて仮敷きを行い、下地からの浮きが無くなるまでシートを十分に馴染ませてください。
- シートが下地に馴染みにくい場合は、図のように表面側へ揉みほぐしを行って馴染ませてください。
- 低温時はシート裏面をガストーチ等で加熱し、下地に馴染ませてください。



- 注意** ●テープ工法では、シートのシワ、浮き、ズレ、たるみなく貼り付けることが重要です。
- 膨れの原因となるたるみが生じないように、仮敷きおよびシートの張り付けは特に注意して行ってください。

## 6. シートの貼り付け・裁断

- シートを荒切りしてから貼り付けを行い、その後裁断を行ってください。
- シートを幅方向に半分に折り返し、片面ずつ両面テープの剥離紙を剥がして貼り付けてください。
- 長手方向には折り返さないでください。(シワ、ズレが生じやすくなります。)
- 右図のようにシートを伸ばしながら、しごき棒で中央から端部に向けて丁寧に貼り付けてください。(寒暖差による膨れ防止になります)



- 注意** ●5℃以下(気温・下地)では施工できません。(両面テープの初期粘着力が低下するため)
- 一度貼った製品は貼り直さないでください。(粘着強度が低下します。)
  - 部分的な貼り直しは、接着剤を用いて行ってください。  
推奨接着剤 セメダイン(株)「スーパーXG(ゴールド)」

## 7. 継目部の仕上げ

- 継目に0.5mm以上の隙間が生じた場合は、カットしたシート(TR)を埋め込み、シーム材を用いて補修してください。  
推奨シーム材 (株)広島「コールドシームA」
- 継目でシートが重なった場合は、隙間が空かないように慎重に断裁して突き付けにしてください。

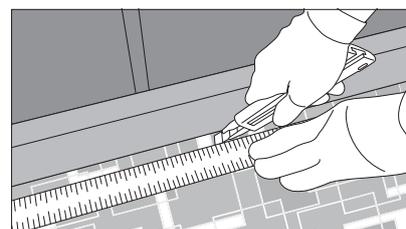
## 8. 圧着

- タキストロンテープ#107貼り付け部分をハンドローラーで十分に圧着してください。(手や靴による圧着不可)



## 9. 端部の仕上げ

- 端部をタキストロンテープ#107の縁に沿って断裁してください。



## 10. 清掃

- 施工終了後、製品残材・剥離紙・梱包紙などを片付けて清掃をしてください。

試験データ  
P.196

法規関連  
P.218

工法・下地  
P.229

施工手順  
P.247

接着剤・  
副資材  
P.314

副資材  
品番一覧  
P.328

メンテナンス・  
注意  
P.333